

# 日本産の農畜水産品の流通に関するアンケート調査報告書



2003年12月1日

## - 目次 -

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| はじめに.....                     | 1  |
| 本アンケートのねらい.....               | 1  |
| アンケート結果(要約).....              | 2  |
| <br>                          |    |
| <b>&lt; アンケート本編 &gt;</b>      |    |
| 日本産の食品・食材の現状の購入環境.....        | 3  |
| 日本産の農畜水産品(加工品を含む)の今後のニーズ..... | 7  |
| 日本産の食品・食材への要望や意見.....         | 10 |
| (参考)アンケート調査票.....             | 13 |

## はじめに

当研究所では、成長著しい隣国「中国」と長崎県の実情を踏まえた交流のあり方における調査研究テーマの1つとして「長崎県産農畜水産品の中国への輸出可能性調査」を進めている。本アンケートは、上記調査の一環として、上海市在住日本人を対象に、中国上海市で流通している日本産の農畜水産品の食品・食材に関する現状の購入環境と今後のニーズについて平成15年9月～10月に実施したものである。本アンケート調査は、これからの中国と長崎県の関連産業交流を促進させるために必要な政策、戦略などを導き出すための基礎資料とする。

これまで、中国において中国在住日本人を対象に日本産の農畜水産品の食品・食材に関する購入環境やニーズについて調査したアンケートは他に類例がなく、アンケート回収率は十分でなかったものの、その結果は、関係者に参考となり得ると考え、今回当研究所の自主研究として公表するものである。

また、本アンケート調査と併行して、平成15年11月に中国上海市において食品流通会社及び日本料理店などの関係者に対しても同様のヒアリング調査を実施した。アンケート調査により浮かび上がった結果は、ヒアリング調査によって収集された情報とほぼ合致しており、今回のアンケート結果は満足できるものであったと考える。

尚、本アンケートの実施に当たって、配布対象先への協力要請の交渉から配布・回収まで尽力頂いた親和銀行上海事務所に、あらためて感謝の意を表したい。

## 1. 本アンケートのねらい

中国及び上海市の市場背景を見ると、2002年度現在の中国の人口は12億8,453万人、上海市の人口は1,625万人、上海市在住日本人は15,178人（ジェットロ上海事務所による）である。また、2002年度現在の1人当たりのGDP（出所：IMF“World Economic Outlook”）で見ると、上海市US\$4,908.4（1ドル＝約112円）、台湾US\$12,450.0、香港US\$23,912.1、日本US\$31,343.3となっている。更に、2002年度中国のGDP成長率は、前年比8.0%増と依然高い伸び率を維持している。

以上より、隣国「中国」は、大消費マーケットとして将来有望であると位置づけられ、長崎県と交流が深い中国経済の中心都市である上海市を長崎県之最優先輸出対象地域とし、このターゲットに対する輸出戦略を構築することが必要であると考えられる。

但し、現段階では、長崎県産の農畜水産品の食品・食材の需要者となり得る層は、日本産の食品・食材の“美味しさ”“食の安全性”などを理解している人や中国産の食材と比較して割高な価格でも購入できる所得がある人などであることから、短期的には、輸出のターゲット（マーケット）として、上海市在住日本人やその日本人がよく利用する日本料理店などが想定される。この観点から、本アンケートは、上海市在住日本人主婦を対象にして実施した。

尚、中長期的には、日本渡航経験がある上海市在住外国人や中国人富裕層と呼ばれる層についても、日本産の食品・食材を理解し経済的にも余裕があることから、輸出のターゲット（マーケット）として、有望な層に成長する可能性が十分ある。今後、これらのターゲット（マーケット）に対して中長期的な視点から、日本料理の“美味しさ”“食の安全性”などと合わせて、調理方法から食べ方まで日本特有の「食」文化について、積極的にPRや啓蒙活動をして行くことが重要となると考える。

当研究所では、今後、長崎県で生産する農畜水産品の中国市場への輸出可能性について、具体的な検討品目を生産・流通・消費の一連の流れに沿って総合的に調査する。そして、具体的な検討品目の輸出を実現可能とするため、流通機構・流通制度・コストなどの障壁に対するソリューションを導き出したいと考えている。

## 2. アンケート結果（要約）

|        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| アンケート名 | 日本産の農畜水産品(加工品を含む)の流通に関するアンケート調査 |
| 実施時期   | 平成15年9月～平成15年10月                |
| 調査対象者  | 上海市在住日本人主婦(350人)                |
| 調査方法   | 商工クラブ婦人部会広報誌に同封して発送し、郵便で回収      |
| 回収数    | 59票(回収率16.8%)                   |

### (1) 日本産の食品・食材の現状の購入環境について

購入場所は、「日本食材専門店」と回答した人が86.4%と最も多く、次いで「日本帰国時にまとめ買い」(61.0%)となっている。購入する食品・食材の種類は、「調味料類」と回答した人が89.8%と最も多く、次いで「加工品類」(49.2%)となっている。そして、具体的な品目としては、調味料類で「醤油」(26人)、「味噌」(13人)、加工品類で「カレー」(8人)、「納豆」(7人)を多くの方が購入している。購入時の判断基準は、「美味しさ」と回答した人が78.0%と最も多く、次いで「安全性・健康維持」(72.9%)が「美味しさ」と同様に高い判断基準となっている。

### (2) 日本産の農畜水産品(加工品を含む)のニーズについて

#### 水産品

日本産があれば優先して購入する農畜水産品は、「水産加工品」と回答した人が66.1%と最も多く、次いで「魚類」(62.7%)が「水産加工品」同様に多く、農畜水産品の食品・食材の中にあつて両分類に最も潜在的なニーズがある。そして、優先的に購入したい具体的な品目については、「刺身」(13人)、「蒲鉾」(11人)、「干物」(8人)などの水産品(魚類・水産加工品)が潜在的ニーズのある品目として浮かび上がってきた。

その背景として、上海市近海海域は、ヘドロなどが大量に沈下しており、また、急激な工業発展に伴う環境汚染などの問題もあり、近海で魚を獲らない(獲れない)状況がある。よって、これまでの上海の魚料理は、川魚中心で熱や火を通した料理が主流であった。但し、近年中国上海市は、物流機構の発達により中国国内及び世界各地から水産品が移入しており、海魚も食べられている。すなわち、中国上海市には、日本特有の魚料理に対応できる“美味しい魚”“新鮮な魚”が、まだ多く流通していないというのが現状である。

#### 農産品

野菜・果物類は、中国産で新鮮で美味しいものが多種多様且つ大量に流通している。また、日本の市場価格とは比較にならないほど安く、日本産が優位性を持つのは非常に困難である。

#### 畜産品

牛肉は、潜在的なニーズはあるが、BSEなどの問題により中国側の輸入規制がある。豚肉・鶏肉は、野菜・果物類と同様の理由で、日本産が優位性を持つのは非常に困難である。

### (3) 日本産の農畜水産品(加工品を含む)の購入時の判断基準について

購入時の判断基準は、「安全性・健康維持」と回答した人が81.4%と最も多く、次いで「美味しさ」(78.0%)と現状の購入環境の回答と同様に多い。ここでは、新たに「新鮮さ」(69.5%)という点も日本産の農畜水産品の食品・食材を購入する上で、重要なポイントとなることが分かった。また、「安全性・健康維持」については、現状の購入環境での回答率(72.9%)と比較して8.5%高くなっている。

# 日本産の食品・食材の現状の購入環境

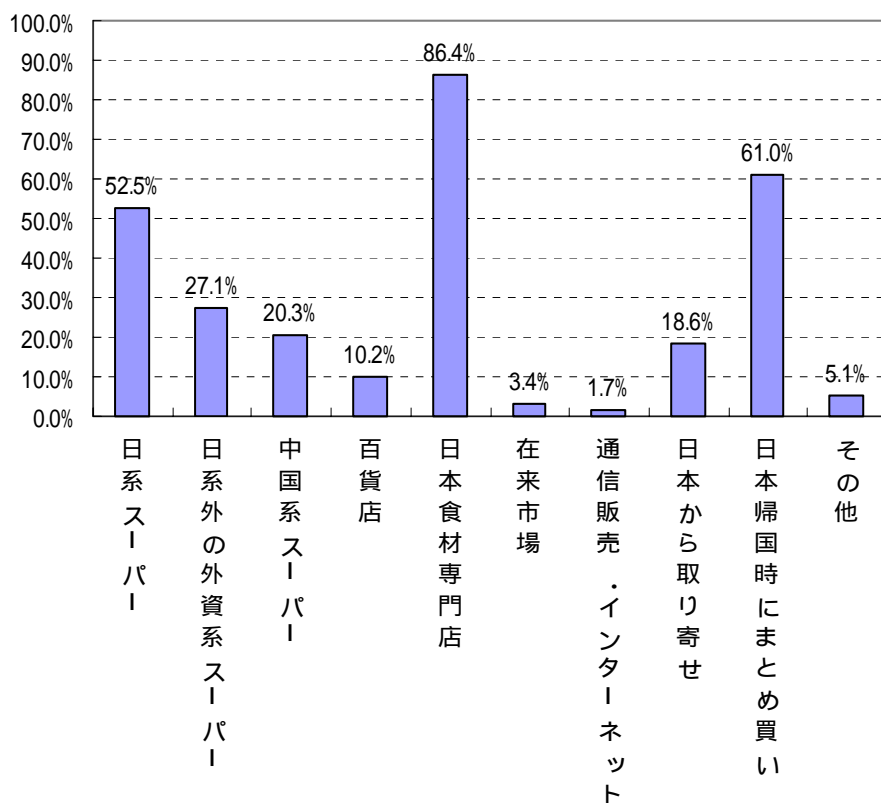
<問 1-1> 日本産の食品・食材は、どこで購入していますか？（複数回答可）

## 最も購入する場所は“日本食材専門店”！！

日本産の食品・食材の購入場所は、「日本食材専門店」と回答した人が 86.4%と最も多い。また、上海市内にある日本食材専門店によると売れ筋商品は“カップラーメン”、主な顧客層は“日本人が 9 割”ということである。次いで、「日本帰国時にまとめ買い」(61.0%)、「日系スーパー」(52.5%) が主な購入場所である。

但し、現在上海市に食料品売り場を持つ“日系百貨店”“日系大型スーパーマーケット”は存在せず、日系のコンビニエンスストアの“ローソン”が進出している。

図表 1 日本産の食品・食材の現在の購入場所 (N=59)

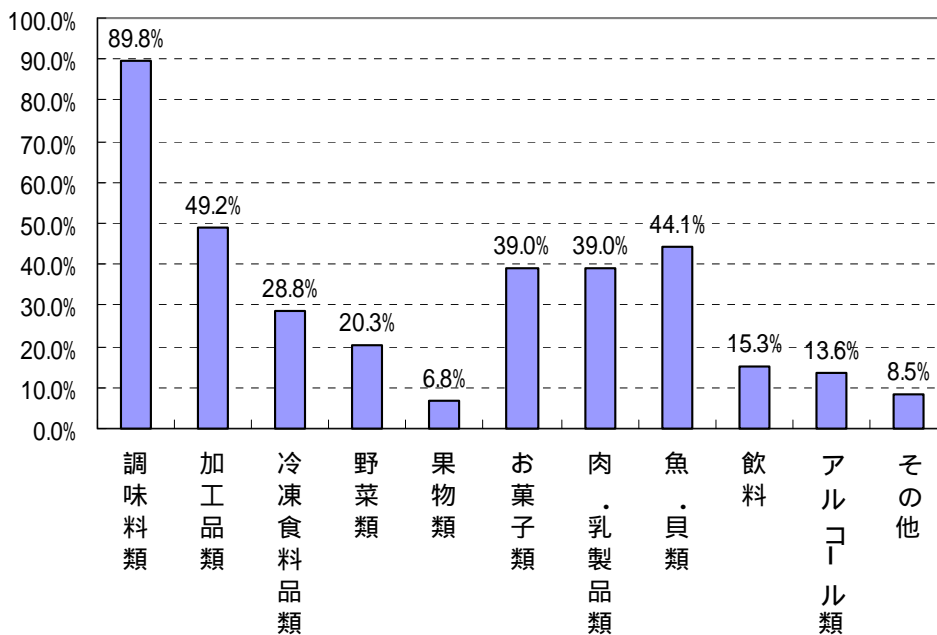


<問 1-2>(問 1-1)でよく購入される日本産の食品や食材の種類は何ですか?(複数回答可)

### 最も購入している種類は“調味料類”！！

よく購入している日本産の食品・食材の種類は、「調味料類」と回答した人が89.8%と最も多く、日本の家庭料理に欠かせない日本独自の調味料が主な需要品である。次いで、加工品類(49.2%)は、長期保存期限の食品・食材であり、輸出に比較的向いている。また、魚・貝類(44.1%)についてもよく購入している。

図表 2 日本産の食品・食材の現在の購入種類 (N=59)



「上海市内にある地場の食品・食材市場」

<問 1-3> (問 1-2) で選択された日本産の食品や食材の種類の具体的な品目を 3 つ教えて下さい。

### 調味料類の中でも “ 醤油 ” を最も購入！！

よく購入している具体的な日本産の食品・食材については、醤油（26人）、味噌（13人）、だし関連 つゆの素、だしの素、本だし、麵つゆ（10人）などの調味料類が最も多い。また、カレールー（8人）、納豆 冷凍もの（7人）などの加工品類も多い。

常温・冷凍で長期保存・保管の可能な食品が、中国向け輸出品目の上位を占めている。

図表 3 日本産の食品・食材で現在購入している具体的な品目

(単位：人)

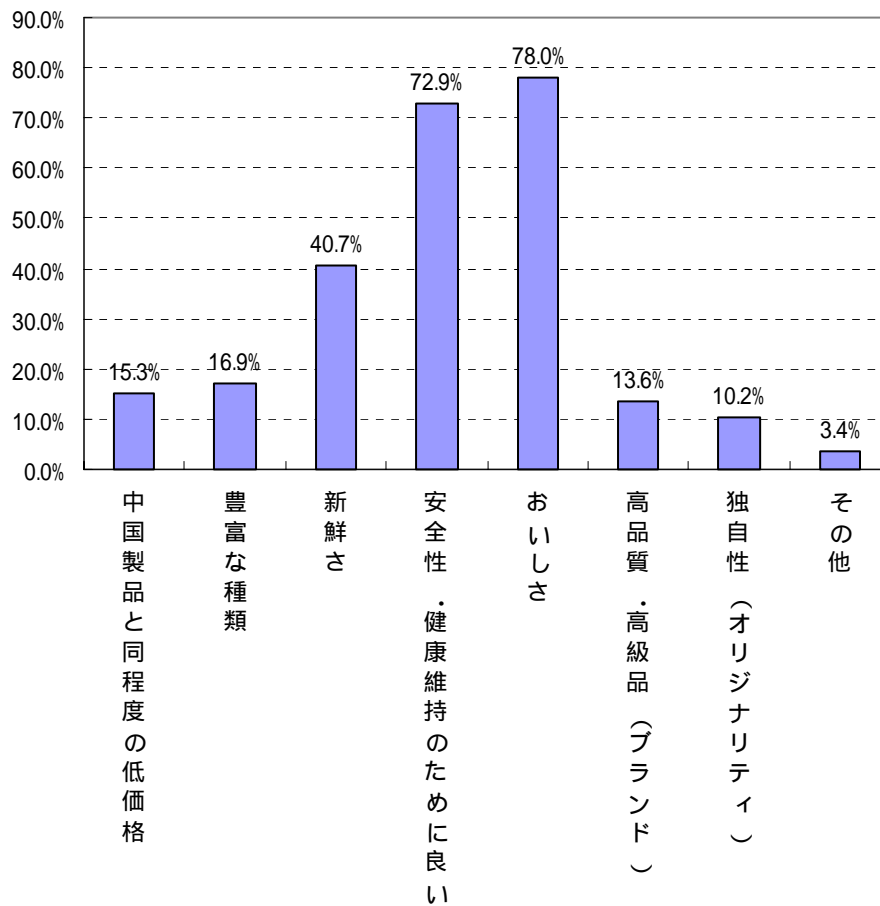
| 分類     | 回答数 | 1 位                                      | 2 位                             | 3 位                         | 4 位           | 5 位       |
|--------|-----|--|---------------------------------|-----------------------------|---------------|-----------|
| 調味料類   | 85  | 醤油<br>(26)                               | 味噌<br>(13)                      | だし類<br>(10)                 | ソース類<br>(7)   | 酢<br>(5)  |
| 加工品類   | 46  | カレールー<br>(8)                             | 納豆<br>(7)                       | インスタント<br>ラーメン(4)           | シチュー<br>ルー(3) | 海苔<br>(3) |
| 魚・貝類   | 20  | 魚 全般<br>(7)                              | 刺身<br>(7)                       | 以下は、各 1 票であさり、かれい、サバ、シラスなど。 |               |           |
| 肉・乳製品類 | 11  | 肉類 全般<br>(6)                             | 以下は、各 1 票で牛肉、骨なし鶏もも肉、卵など。       |                             |               |           |
| アルコール類 | 11  | 酒類 全般<br>(5)                             | 日本酒<br>(3)                      | 焼酎<br>(2)                   | ビール<br>(1)    | -         |
| お菓子類   | 8   | 各 1 票で、アイスクリーム、飴、煎餅、柿の種、チョコレート、プリン、羊羹など。 |                                 |                             |               |           |
| 飲料     | 8   | 日本茶<br>(2)                               | 以下は、各 1 票で麦茶、紅茶、珈琲豆、オレンジジュースなど。 |                             |               |           |
| 冷凍食品類  | 6   | 冷凍食品<br>全般(4)                            | 以下は、各 1 票でフレンチフライポテト、冷凍うどん。     |                             |               |           |
| 野菜類    | 4   | 各 1 票で、カボチャ、米、しその葉、緑色野菜。                 |                                 |                             |               |           |

<問 1-4>(問 1-2)の日本産の食品や食材を購入する場合の判断基準について教えてください。  
(複数回答可)

### 購入時の判断基準は、“美味しさ”“安全性・健康維持”！！

日本産の食品・食材を購入する場合の判断基準は、「美味しさ」と回答した人が78.0%、「安全性・健康維持」と回答した人が72.9%と多く、日本特有の「食」文化や「食」の安全性を重視した消費性向が表れている。

図表 4 日本産の食品・食材を購入する判断基準 (N=59)



# 日本産の農畜水産品（加工品を含む）の今後のニーズ

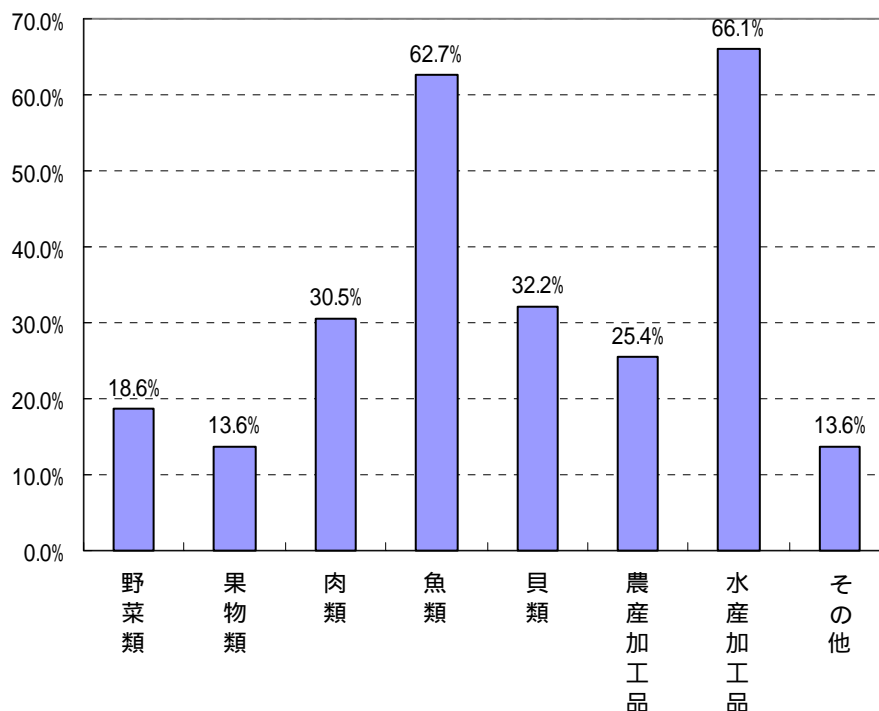
<問 2-1> 農畜水産品は、今は現地産等を購入しているが、日本産があれば優先的に購入する種類は何ですか？（複数回答可）

## 農畜水産品の潜在的なニーズは、“水産加工品”“魚類”！！

農畜水産品の食品・食材の中で日本産があれば優先して購入する種類は、「水産加工品」と回答した人が66.1%と「魚類」と回答した人が62.7%と最も多く、水産品を中心とした潜在的なニーズがある。

その背景として、上海市近海海域は、ヘドロなどが大量に沈下しており、また、急激な工業発展に伴う環境汚染等の問題もあり、近海で魚を獲らない（獲れない）状況がある。よって、これまでの上海の魚料理は、川魚中心で熱や火を通した料理が主流であった。但し、近年中国上海市は、物流機構の発達により中国国内及び世界各地から水産品が移入しており、海魚も食べられている。すなわち、中国上海市には、日本特有の魚料理に対応できる“美味しい魚”“新鮮な魚”が、まだ多く流通していないというのが現状である。

図表 5 優先して購入したい日本産の農畜水産品（N=59）



<問 2-2> (問 2-1)で選択された日本産の農畜水産品で購入したい具体的な品目を3つ教えて下さい。

## 水産品の中でも、“刺身”“蒲鉾”“干物”の潜在的なニーズ大！！

日本産の農畜水産品の食品・食材を優先的に購入したい具体的な品目については、「刺身」（13人）、「蒲鉾類」（11人）、「干物」（8人）などの水産品（魚類・水産加工品）が最も潜在的なニーズがある。また、「牛肉」（11人）、「ヨーグルト」（6人）などの畜産品（肉類・畜産加工品）にも潜在的なニーズがある。

上海市内にある日本料理店によると「鮮魚では“青物類の中で特にハマチ”、水産加工品では“イカの一晩干し”“アジ・イワシの開き”“蒲鉾”などが上海には日本のような美味しいものが無く可能性が高い」「価格面で中国産などと十分対抗できることも重要なポイントとなる」ということである。但し、水産品は、鮮度・物流や中国側の輸入規制品目などの問題、牛肉は、BSEの問題により中国側の輸入規制などの問題があり、今後流通制度などの調査が必要である。

農産品の野菜類・果物類や畜産品の豚肉・鶏肉については、中国国内の市場価格が日本の市場価格とは比較にならないほど安い。また、新鮮で美味しいものが多種多様且つ大量に流通している。但し、カルフォルニアのグレープフルーツやニュージーランドのキウイフルーツなどの輸入果物類もあり、これらは官民一体となった輸出促進活動によって成功している例である。

図表 6 日本産の農畜水産品（加工品含む）で購入したい具体的な品目

（単位：人）

| 分類    | 回答数 | 1位            | 2位                | 3位                                    | 4位           | 5位         |
|-------|-----|---------------|-------------------|---------------------------------------|--------------|------------|
| 水産加工品 | 45  | 蒲鉾類<br>(11)   | 干物<br>(8)         | たらこ<br>(5)                            | ソーセージ<br>(4) | 明太子<br>(4) |
| 農産加工品 | 38  | ヨーグルト<br>(6)  | チーズ<br>(5)        | ハム<br>(5)                             | ウインナー<br>(4) | 漬け物<br>(4) |
| 魚類    | 33  | 刺身 全般<br>(13) | 魚 全般<br>(6)       | いわし<br>(2)                            | 鮮魚<br>(2)    | 切り身<br>(2) |
| 肉類    | 15  | 牛肉<br>(11)    | 豚肉<br>(3)         | 鶏肉<br>(1)                             | -            | -          |
| 野菜類   | 13  | 米<br>(2)      | さつまいも<br>(2)      | 以下は、各1票で三つ葉、ほうれん草、トマト、トウモロコシ、大豆、胡麻など。 |              |            |
| 貝類    | 10  | あさり<br>(2)    | しじみ<br>(2)        | 貝全般<br>(2)                            | 昆布<br>(1)    | -          |
| 果物類   | 5   | 柿<br>(2)      | 以下は、各1票で林檎、イチゴなど。 |                                       |              |            |

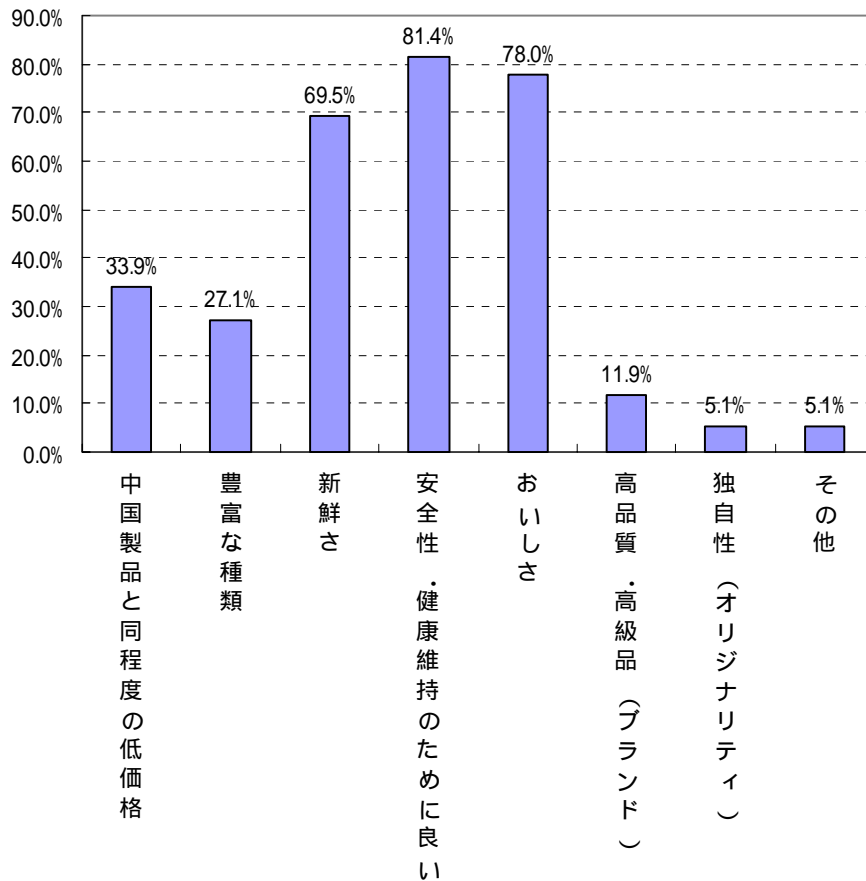
<問 2-3> (問 2-1)の日本産の農畜水産品を購入する場合の判断基準について教えてください。  
 (複数回答可)

**購入時の判断基準は、“安全性・健康維持”“美味しさ”“新鮮さ”！！**

日本産の農畜水産品を購入する場合の判断基準は、「安全性・健康維持」と回答した人が81.4%、「美味しさ」と回答した人が78.0%と現状の購入環境の回答と同様に多い。ここでは、新たに「新鮮さ」(69.5%)という点も日本産の農畜水産品の食品・食材を購入する上で重要なポイントとなることが分かった。特に、潜在的なニーズが高い水産品において、中国産にはない新鮮さを打ち出すことができれば輸出可能性の重要なポイントとなる。

また、「安全性・健康維持」については、現状の購入環境での回答率(72.9%)と比較して8.5%高くなっている。

**図表 7 日本産の農畜水産品を購入する判断基準 (N=59)**



「上海市内にある水産品卸市場」  
 ここには中国国内及び世界各地から水産品が集まる

## 日本産の食品・食材への要望や意見

<問3> 日本産の食品や食材に関して、ご要望またはご意見がありましたらお教え下さい。

(N=36)

|    |  |
|----|--|
| 1  | うなぎのかば焼き、カレールー、梅干など日中合弁会社が中国産の食材を使い、日本の加工食品を製造している物が増えています。値段も日本からの輸入よりだいぶ抑えられ、新鮮な事もあり、よく購入します。そのような食品が今後も増えると助かります。   |
| 2  | 日本製の納豆、ちくわ、かまぼこは冷凍で売られているので、味が悪い。冷凍でない状態で購入できればいい。   |
| 3  | 蒲鉾、竹輪の新鮮なものが欲しい。おでんが作れない(高くつく)。  |
| 4  | 肉は、購入したいと思えるお店が何軒かあるのですが、魚はいつも決まったお店でしか購入していない。魚の種類も、もう少し増えると有り難いです。   |
| 5  | 新鮮な魚介類、美味しい牛肉、安心できる野菜・果物などがあつたら、中国産より少し高くても買うと思います。鮮度と低コストの両立に期待します。   |
| 6  | 輸入している種類が少なく限られている。価格が高過ぎる(特に友情商城)。魚の種類が少ない(切り身など)。  |
| 7  | 食材が多くないので食事のメニューも同じものの繰り返しになります。特に魚、貝、生たらこ、かずのこ、いくらなどは价格的に高くても、新鮮で品質の良いものを置いて欲しい。  |
| 8  | お正月前には餅やかまぼこ類など、お節料理の材料が充実すると嬉しいです。  |
| 9  | 日本食材店では手には入るものの、種類が少なく、あまりおいしくないのが新鮮で種類豊富な魚介類が手に入ればいい。   |
| 10 | 醤油も中国で作っていますが、値段が高い。中国製品なのだから他のケチャップなどのように低価格のものなど原地産は、原地産らしい価格の設定をして欲しい。  |
| 11 | 日本の食材、加工品は上海でも比較的手に入りやすい。<br>しかし、日本食材専門店でも野菜、肉、魚は現地産。野菜は日中合資の農園のものもあるが、日本の農産物の味の濃さ、品質の良さにはかなわない。日本で野菜、果物を食べるとそれを実感する。  |
| 12 | 上海は、海外においては比較的日本の食料品が手に入り易い恵まれた環境にあると思います。しかし、やはり日本で暮らす便利さとは、かけ離れています。例えば冷凍の納豆なども美味しくないし、それらしきカニ棒も、まずくて食べられない。<br>冷凍食品も増えたけれど、高価格なので、買うのもバカらしく、余り利用していない。何度洗っても汚い野菜は、サラダとして食べられないので、美味しい・きれいな生野菜が食べてみたい。 |
| 13 | 関税の高さがあるのですが、ずいぶん高いなあ、と思いつつ買ってしまいます。同じメーカーの品(お菓子、調味料)でも、油や、香辛料の相違により、味は落ちますし、美味しくないというのが実感です。贅沢言えば、きりがありません。   |
| 14 | お菓子作りに必要な調味料(ベーキングパウダー、ケーキシロップ、バニラエッセンス)などあるとうれしい。<br>練り製品は高くて、品が悪いので、種類が増え美味しいものがあるとうれしい(冷凍保存の仕方が悪い)。日本の美味しい果物があるとうれしい。   |

|    |  |
|----|--|
| 15 | 中国産の低価格の米に慣れたので(味もまあまあ)日本の米が入ってきても、あまりに高いと買わないかもしれない。日本産のものはうれしいが、価格差があり過ぎると、それに近い中国産を買います。  |
| 16 | 輸入品はとにかく高く、お弁当のおかず(冷凍品)は手が出ない。<br>絶対に必要なものは輸入品でも購入するが、そうでないものは、高いので、中国産で間に合わせている。漬物も、少し不安に思いながら、中国産の物を購入している。添加物とか大丈夫かな?   |
| 17 | 中国で買えるヨーグルトは甘すぎるものばかりなので、“ブルガリアヨーグルト”のようなプレーンヨーグルトがあれば買いたい。魚の種類がもう少し豊富であれば嬉しい。ハム・ソーセージ類、サラミなどは美味しいものが中国には少ない。  |
| 18 | 以前に比べ、中国でも日本の食材が手に入りやすくなりましたが、まだ、と言うか、全くない。日本の美味しいお米や小麦、日本産の和牛は手に入りにくいのが現状です。毎回帰国した際に、持ち帰ったりしています。   |
| 19 | 子供が小さいので日本では当たり前のように食べていたチーズやヨーグルトがないのは困りました。特にヨーグルトは甘い飲むタイプのものしかないので、無糖のものが欲しい。   |
| 20 | 中国生活も長くなり最初は、日本に帰るたびにどっさり買い込んで来ていましたが、このところ重い物はこちらで調達する事が多くなってきました。できるだけ安価に種類も豊富になるといいですね。醤油とか。  |
| 21 | 現在調味料は日本からできるだけ持ってきてもらっているが、価格に割安感があれば、こちらで(上海で)購入したいと思っている。新鮮でおいしい魚を家庭でもっと気軽に子供達に食べさせてやりたい。数年前に比べると、日本食材の種類も豊富になり、カレーのルーも中国産も出て安くなり、とても嬉しく思っていますが、出来れば、日本産 or 安全性のある魚が、豊富な種類と低価格であれば嬉しいです。あと、ソーセージと果物の柿だけはどうしてもなかなか手に入りません。ソーセージは時々日系スーパーに有る時もあるけれど、子供の弁当にあれば助かります。柿は甘いのだとグチュグチュで、堅くて渋い。柿だけは、やっぱり日本産が恋しいです。 |
| 22 | 野菜の無農薬等の安全性。日本人好みの脂身のすくない肉類とか、これだけ上海に日本人が多い割に毎回日本に一時帰国するたび、たくさんの食材をまとめ買いするのに疑問を感じます。   |
| 23 | お弁当に入れる為の冷凍食品、惣菜がもう少し多いといい。あとやはり、価格がもう少し安いとさらに生活しやすくなる。新鮮さは、かなり改善されている。  |
| 24 | 無添加の醤油や味噌、自然塩などを購入できる自然食品のお店があったら嬉しいです。  |
| 25 | 日本の食料品でこれだけでなくとは思えるのは、つくだ煮以外思いあたりません。それ程、中国での調達が可能になっていると思います。   |
| 26 | 安く、安全で、美味しいものが手に入ればいい。   |
| 27 | 種類が限られており高値。又、品切れも多い。賞味期限が迫っているものも多い。  |
| 28 | より安く輸入食品を購入できる環境が整うことを希望します。   |
| 29 | 価格が安くなるといい。安全性の高い食品が欲しい。   |
| 30 | 上海では食の安全性に対する関心が高まっていないと思います。こちらには生協や自然食品の共同購入のようなシステムはないので、特に子供のためにも安心できる食品を購入できたらいい。   |

|    |   |
|----|---|
| 31 | 種類はずい分増えましたが、高価格でまだ購入しづらいです。もう少し安く、常時手に入ると有難いです。売り切れると上海中で日本産の商品がない。                      |
| 32 | 日本にあるデパ地下の様に買いに行けば全てそろそろ場所（店）があったらいい。   |
| 33 | 上海で多くの食材が手に入る様になりましたが、やはり高い。いくつかの店に行くが、同じ物が並んでいる。   |
| 34 | 最近、商品は豊富にはなったものの、価格が高すぎる。（商品の味を知っているが故に、この味で、この価格では買いたくない、というのが正直なところです。）                 |
| 35 | 品切れになると、長期間入らないので、困る（無いなら無いで、日本からの来客に持って来て貰う等するが、こちらで購入できるものを取って頼んだりはしないので、当てにしてい無いのは困る。） |
| 36 | もう少し低価格で販売して欲しい。  |

< 参考文献 >

日本貿易振興会編集・発行 『実戦 食品輸出読本 - 世界に広がる日本の味 - 』、2000 年。  
財団法人日中経済協会発表 『2001 年の中国農業 - WTO加盟に伴う国内対策 - 』、2002 年。  
日本貿易振興会編集・発行 『アグロトレードハンドブック 2002 - 農林水産物貿易の最近の動き - 』、  
2002 年。

( 参 考 )

日本産の農畜水産品（加工品を含む）の流通に関するアンケート調査

本アンケートは、中国上海市で流通している日本産の農畜水産品の食品や食材に関する現状の購入環境とニーズについて調査します。そして、中国と長崎県の関連産業交流を促進させるために、必要な政策等を導き出すための基礎資料とすることを目的としております。

本調査結果は、本調査研究目的以外に一切使用いたしません。ご協力お願いいたします。  
回答は、次の項目に記入、また該当する記号に をつけてください。

財団法人ながさき地域政策研究所

< 問 1 > 日本産の食品や食材について、現状の購入環境をお尋ねします。

(1-1) 日本産の食品や食材は、どこで購入していますか？（複数回答可）

|                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 日系スーパー       | 2. 日系外の外資系スーパー |
| 3. 中国系スーパー      | 4. 百貨店         |
| 5. 日本食材専門店      | 6. 在来市場        |
| 7. 通信販売・インターネット | 8. 日本から取り寄せ    |
| 9. 日本帰国時にまとめ買い  | 10. その他 ( )    |

(1-2) (1-1) でよく購入される日本産の食品や食材の種類は何ですか？（複数回答可）

|         |            |             |         |
|---------|------------|-------------|---------|
| 1. 調味料類 | 2. 加工品類    | 3. 冷凍食料品類   | 4. 野菜類  |
| 5. 果物類  | 6. お菓子類    | 7. 肉・乳製品類   | 8. 魚・貝類 |
| 9. 飲料   | 10. アルコール類 | 11. その他 ( ) |         |

(1-3) (1-2) で選択された日本産の食品や食材の種類から具体的な品目を3つ教えて下さい。

|        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 1. ( ) | 2. ( ) | 3. ( ) |
|--------|--------|--------|

(1-4) (1-2) の日本産の食品や食材を購入する場合の判断基準について教えて下さい。（複数回答可）

|                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 中国製品と同程度の低価格 | 2. 豊富な種類          |
| 3. 新鮮さ          | 4. 安全性・健康維持のために良い |
| 5. おいしさ         | 6. 高品質・高級品（ブランド）  |
| 7. 独自性（オリジナリティ） | 8. その他 ( )        |

< 問 2 > 日本産の農畜水産品（加工品を含む）について、今後のニーズをお尋ねします。

(2-1) 農畜水産品は、今は現地産等を購入しているが、日本産があれば優先的に購入する種類は何ですか？（複数回答可）

|          |          |            |       |       |
|----------|----------|------------|-------|-------|
| 1. 野菜類   | 2. 果物類   | 3. 肉類      | 4. 魚類 | 5. 貝類 |
| 6. 農産加工品 | 7. 水産加工品 | 8. その他 ( ) |       |       |

(2-2) (2-1) で選択された日本産の農畜水産品で購入したい具体的な品目を3つ教えて下さい。

|        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 1. ( ) | 2. ( ) | 3. ( ) |
|--------|--------|--------|

(2-3) (2-1) の日本産の農畜水産品を購入する場合の判断基準について教えて下さい。（複数回答可）

|                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 中国製品と同程度の低価格 | 2. 豊富な種類          |
| 3. 新鮮さ          | 4. 安全性・健康維持のために良い |
| 5. おいしさ         | 6. 高品質・高級品（ブランド）  |
| 7. 独自性（オリジナリティ） | 8. その他 ( )        |

< 問 3 > 日本産の食品や食材に関して、ご要望またはご意見がありましたらお教え下さい。

|  |
|--|
|  |
|--|

< 回答期限：平成15年10月10日（金） >

お手数ですが、同封の返信用封筒にてご回答お願いいたします。

郵送先：上海市延安西路2201号国貿中心1914室 親和銀行上海事務所

担当：北 威一郎

< 本件に関する問い合わせ先 >

財団法人 ながさき地域政策研究所

調査研究部長 菊森淳文

専任研究員 石橋昌幸

〒850-0035 長崎県長崎市元船町 17-1

電話 095-820-4865 FAX 095-818-2763

E-mail [ishibashi.masayuki@think-nagasaki.or.jp](mailto:ishibashi.masayuki@think-nagasaki.or.jp)

<http://www.think-nagasaki.or.jp/>

本アンケート報告書の内容の一部あるいは全部を無断で複写、複製、転記することは、法律で認められた場合を除き、著作権者の権利の侵害となりますので、その場合はあらかじめ上記問い合わせ先の当研究所あてに許諾を求めて下さい。